

編集 後記

編集顧問 町田 豊平 小川 秋實 秋元 成太
編集委員 村井 勝 郡 健二郎 藤岡 知昭

村井先生、11 年間、本誌の編集をご苦労さまでした。私にとっては「感謝」の気持ちで一杯です。

と言いますのも、月 1 回の編集会議は、大学などで時間に追われがちな私には、いつも楽しく、リフレッシュさせていただく清涼剤のような時間だったからです。

これもひとえに、村井先生のお人柄によるものだったと思います。温厚篤実にして誠実、他人への繊細な気配りは、なにも編集会議に限ったことではないでしょうが、村井先生の人となりや端を端的に表す言葉です。11 年間も一緒にしていると、一度ぐらいいやな思いをするものですが、いま思い起こしてもそんな記憶はありません。このことは、藤岡先生や編集担当者の方々も同じ思いでしょう。

村井先生の他人への気配りは、論文審査においてもしばしば見られます。本誌の論文審査は、A～D の 4 段階で判定をしています。A（採用）と D（不採用）の判定は、3名の編集委員の意見が異なることはまずないのですが、判定で悩むのは、B（マイナー修正後採用）と C（再審査）のいずれにするかを決めるときです。そんなとき、決まって村井先生は、「下向きの B です」と言われ、できる限り採択してあげようとの思いから、多くの厳しいコメントをつけながらも、採用の最終判定をされます。いかにも村井先生らしい寛容さと厳しさを垣間見る一幕です。

論文審査以外においても、先生から刺激を受けることがしばしばありました。「特集やセミナー」の企画

について話し合うとき、村井先生の医療知識がとても詳しいことに驚かされました。学会や研究会などで、常に新しい情報を得ようと努められておられるのですが、先生が臨床を重んじられ、誠実かつ熱心に取り組んでおられる証だと思えます。

刺激を受けるといえば、先生には計り知れないエネルギーがあります。例えば編集会議後、夜遅く再び大学に戻られることもしばしばです。あの体力はपोर्टで培われたものなのでしょうが、疲れた様子もなく、こまめに東奔西走される姿を見ていると、刺激を受けても私には真似ることもできず、驚きのほかありません。

特殊な病理組織の論文を審査するとき、私たち編集委員は判断に困ってしまいます。そんなとき、村井先生の誠実さと几帳面さが自然と顔を出し、「知人の〇〇先生にコメントをもらっておきます」と、その場を解決して下さいます。これからが大変だな、と思う心境です。

村井先生は、わが国有数の慶應義塾大学の教授・病院長として、多くの優秀な同門を 1 つに束ねられました。個性豊かな医師の人心をまとめることは大変なことだったと思います。その苦勞を微塵たりとも見せず、体制を整えられたことは、敬意の一言です。泌尿器科学会においても同様で、理事長として会員を 1 つにまとめられ、学会の発展に尽くされました。昨今の社会は、医療界を含めてあまりにも私利私欲が多くなっています。残された私たちは、他人のことを思いやり、力を合わせる大切さを今一度思い起こしたいと思います。

(郡 健二郎)

臨床泌尿器科 (第 61 巻 第 5 号) (通巻 727 号)
2007 年 4 月 20 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

定価 2,835 円 (本体 2,700 円+税 5%)
2007 年 年ぎめ予約購読料 (増刊号を含む 13 冊)
41,360 円 (税込・送料サービス)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709
(担当: 登・渡辺・中田)
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp
振替口座 東京 00170-9-96693 番
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- 医学書院ホームページ (インターネット) は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床泌尿器科」のページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinpi/> です。
- JCLIS < 日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に日本著作出版権管理システム (03-3817-5670) の許諾を得てください。